

男女共同参画・多文化共生に関する市民意識調査票

*** ご協力をお願い ***

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、皆様に男女平等や男女共同参画社会の実現及び多文化共生に関するお考えやご意見をお聞きし、今後の計画推進の参考とするため、意識調査を実施することになりました。

なお、調査にあたりましては、市内在住の18歳以上の方々1,500人を無作為に選ばせていただき調査票をお送りしています。この調査の結果は、計画推進の目的のみに使用するものであり、他の目的に使用したり内容についてご迷惑をおかけすることは決してありません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

平成27年7月 湖西市長 三上 元

だい 2 じ ぷ ら ん じ ちょうきひょう 第2次プラン時の調査票

だんじょきょうどうさんかく かんするちょうさ どうじ おこなった
男女共同参画に関する調査を、同時に行ったため、

たぶんかきょうせい かんするしつもん とい とい
多文化共生に関する質問は、問11、問34～42のみです。

とい とい きょうつう
(問1～問8は共通)

問合せ先：湖西市企画部市民協働課 〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
(TEL) 053-576-4560 (FAX) 053-576-1115

I あなたのことについてお伺いします

問1 あなたの性別をお答えください。(1つを選択)

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。(1つを選択)

※6月1日現在の年齢をお選びください。

1. 18～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳
4. 50～59歳 5. 60歳以上

問3 あなたの家族構成(同居している家族)は次のどれにあてはまりますか。(1つを選択)

1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみの世帯 3. 親と子の二世帯
4. 親・子・孫の三世帯 5. 母子世帯 6. 父子世帯
7. その他()

問4 あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。(兼業の方は主なものをお選びください。)

(1つを選択)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 会社員、公務員・その他勤め人 | 2. パート・アルバイト・派遣社員 |
| 3. 自営業(農林漁業、商工業等) | 4. 専業主婦(専業主夫も含む) |
| 5. 学生 | 6. 無職 |
| 7. その他() | |

問5 あなたは結婚していますか。(1つを選択)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 結婚している(事実婚を含む) | 2. 結婚していない |
| 3. 結婚していたが、離婚・死別した | |

→〈問5で「1. 結婚している(事実婚を含む)」とお答えの方に伺います。〉

問6 現在、共働きをしていますか。(1つを選択)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 共働き(共にフルタイム) | 2. 共働き(いずれかがパート・アルバイト) |
| 3. 共働き(共にパート・アルバイト) | 4. 共働きでない |
| 5. どちらも働いていない | |

問7 あなたは高校生以下のお子さんがいらっしゃいますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問8 あなたを含めたご家族の中に介護・介助が必要な方がいらっしゃいますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

Ⅱ 以下の言葉・考え方について伺います

問9 『男女共同参画』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

- | | | | |
|------------|------------|--------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている | 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |
|------------|------------|--------------|---------|

問10 『ユニバーサルデザイン』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

- | | | | |
|------------|------------|--------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている | 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |
|------------|------------|--------------|---------|

問11 『多文化共生』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

- | | | | |
|------------|------------|--------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている | 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |
|------------|------------|--------------|---------|

Ⅲ 社会における男女平等について伺います

・性別役割分担意識とは

「男は仕事、女は家庭・育児」、「男はたくましく積極的、女はやさしく控えめ」、「男が代表、女は補助」というように性別によって固定的に役割を分担する考え方のこと。

・参画とは

物事を決める場に、ただ席にいて「参加」するだけでなく、決定にいたるまでの相談や議論に主体的に加わっていくこと。

問12 『男は仕事、女は家庭』というような男女の役割を固定的に考えること(性別役割分担意識)について、あなたはどのようにお考えですか。(1つを選択)

- | | | | |
|---------|--------------|----------|----------|
| 1. 同感する | 2. どちらともいえない | 3. わからない | 4. 同感しない |
|---------|--------------|----------|----------|

問13 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(それぞれ1つを選択)

	男性が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が非常に優遇されている	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 就職	1	2	3	4	5	6
④ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域(自治会・PTA等)	1	2	3	4	5	6
⑥ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑦ 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会通念や慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
⑨ 社会全体	1	2	3	4	5	6

問14 男女平等社会を実現するために大切だと思うことはどのようなことですか。

(3つまで選択可)

1. 法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること
2. 女性を取り巻く様々な偏見や固定的な社会通念・慣習しきたりを改めること
3. 女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識や技術を習得すること
4. 女性の就業や社会参加を支援するサービス(研修や講座など)の充実を図ること
5. 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用し充実すること
6. 育児休暇と介護休暇の充実、取得しやすい社会づくりを進めること
7. 子育てや介護、地域活動などへの男性の参画に対する男性の側の意識改革
8. 学校や生涯教育の場で男女平等教育を推進すること
9. 夫(妻)や家族の理解や協力を得ること
10. 男女平等に関する普及啓発
11. 地域活動(町内会・自治会など)で女性・若者が意見を言いやすい環境づくりを推進すること
12. 市民が市民活動への参加を行うこと
13. その他(具体的に: _____)
14. 特にない

問15 男女平等社会の実現を図るために、今後、行政はどのようなことに力を入れるとよいと思いますか。(3つまで選択可)

1. 平等意識を育てる学校教育の充実
2. 家庭や職場などあらゆる場における男女平等への理解を深めるための学習機会の促進や意識啓発
3. 女性問題に関する情報提供、交流・相談窓口などの充実
4. 女性の職業教育・訓練の機会の充実
5. 男性の料理教室、介護教室、子育てなどの学習機会の提供
6. 就労機会や労働条件の男女格差を是正するための働きかけ
7. 育児・保育施設や支援事業の充実
8. 高齢者や病人の在宅介護サービスや施設または福祉施策の充実
9. 民間企業等への女性の参画についての意識啓発
10. 行政の政策決定や審議会への積極的な女性の登用
11. 地域活動(町内会・自治会など)で女性・若者が意見を言いやすい環境づくりの推進
12. 市内の女性団体・グループとその活動内容の情報ネットワークづくり
13. その他(具体的に: _____)
14. 特になし

IV 家庭生活における役割分担についてお伺いします

問16 あなたのご家庭では、次のことがらについて主に誰が分担していますか。(それぞれ1つを選択)

	主に妻	主に夫	妻と夫が 半々	家族 全員	その他の 人	自分 (単身者)	該当 なし
① 家計を支える(生活費を稼ぐ)	1	2	3	4	5	6	7
② 掃除、洗濯、食事のしたくなどの家事をする	1	2	3	4	5	6	7
③ ゴミ出しなどの簡単な家事をする	1	2	3	4	5	6	7
④ 日々の家計の管理をする	1	2	3	4	5	6	7
⑤ 育児、子どものしつけをする	1	2	3	4	5	6	7
⑥ 家族の介護・介助をする	1	2	3	4	5	6	7
⑦ 自治会・町内会などの地域活動を行う	1	2	3	4	5	6	7
⑧ 子どもの教育方針や進学目標を決める	1	2	3	4	5	6	7
⑨ 高額の商品や土地家屋の購入を決める	1	2	3	4	5	6	7

問17 男女の役割分担について、本来はどうあるべきだと思いますか。(1つを選択)

1. 男は仕事、女は家事・育児を分担する
2. 男は仕事、女は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする
3. 男女ともに仕事をし、家事・育児は主に女が分担する
4. 男女ともに仕事をし、家事・育児は男女で分担する
5. 女は仕事、男は家事・育児という分担でもかまわない
6. その他(具体的に: _____)
7. わからない

V 職業や労働についてお伺いします

問18 あなたは、「女性と職業」についてどのようにお考えですか。（1つを選択）

1. 女性は職業をもたないほうがよい
2. 結婚するまで職業をもつほうがよい
3. 子どもができるまで職業をもつほうがよい
4. 出産・育児期間は仕事をやめ、成長したら再び職業をもつほうがよい
5. 定年（生涯）職業をもち続けるほうがよい
6. その他（具体的に： _____）
7. わからない

→ 〈問18で「2.～5.」とお答えの方に伺います。〉

問19 女性が働く上での障害は何だと思えますか。（あてはまるもの全て選択可）

1. 結婚・出産退職等の慣行
2. 賃金の男女格差
3. 昇進・昇格における男女の格差
4. 仕事内容における男女の格差
5. 長時間労働や残業
6. 雇用形態にパートタイムや臨時雇いが多いこと
7. 育児休暇が取得しにくいこと
8. 育児施設の不足
9. 介護休暇が取得しにくいこと
10. 介護施設の不足
11. 職場における人間関係
12. 家族に反対されたり、協力が得られないこと
13. 女性自身の知識や技術の不足
14. 女性自身の就業意識が低いこと
15. その他（具体的に： _____）
16. 特にない
17. わからない

問20 育児や介護を行うために、育児休業や介護休業を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業や介護休業を取ることに、あなたはどのようにお考えになりますか。

（それぞれ1つを選択）

	積極的に取った方がよい	どちらかといえば取った方がよい	どちらかといえば取らない方がよい	取らない方がよい	わからない
① 育児休業	1	2	3	4	5
② 介護休業	1	2	3	4	5

問21 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・介護休業が取得しやすい環境（又は雰囲気）にありますか。（それぞれ1つを選択）

	取得しやすい	やや取得しやすい	やや取得しにくい	取得しにくい	わからない
① 育児休業	1	2	3	4	5
② 介護休業	1	2	3	4	5

VI ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についてお伺いします

・ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは

やりがいのある仕事と充実した生活（子育てや家庭生活だけでなく、地域活動や趣味・学習などあらゆる活動が含まれる。）を両立させながら、個人の能力を最大限発揮できるように支援する考え方や施策のこと。

仕事優先から仕事と生活のバランスがとれた働き方や生き方への展開が求められるようになってきている。

問22 あなたはワーク・ライフ・バランスという言葉をご存じですか。（1つを選択）

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない
3. 言葉も内容も知らない

問23 生活の中での「仕事」「家庭生活」「プライベート（個人の生活等）」で何を優先しますか。

①あなたの希望と②あなたの現実について、最も近いものをそれぞれ1つ選んでください。

①あなたの希望

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「プライベート（個人の生活等）」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「プライベート（個人の生活等）」を優先したい
6. 「家庭生活」と「プライベート（個人の生活等）」を優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「プライベート（個人の生活等）」の3つとも大切にしたい
8. その他（具体的に：_____）

②あなたの現実

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「プライベート（個人の生活等）」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「プライベート（個人の生活等）」を優先している
6. 「家庭生活」と「プライベート（個人の生活等）」を優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「プライベート（個人の生活等）」の3つとも大切にしている
8. その他（具体的に：_____）

Ⅶ セクシュアル・ハラスメントについてお伺いします

・セクシュアル・ハラスメントとは

職場・学校・地域活動等において、本人の意に反した攻撃的で屈辱的な性的言動や勧誘により、仕事などをしていくうえで、一定の不利益を受けたり、環境が悪化したりすること。

問24 あなたは、これまでに、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。（あてはまるもの全て選択可）

1. セクハラを受けたことがある
2. 身近にセクハラを受けた人がいる
3. セクハラを受けた人から相談されたことがある
4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある
5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている
6. 経験したり見聞きしたことはない
7. その他（具体的に：_____）

→<問24で「1. セクハラを受けたことがある」と答えた方におたずねします。>

問25 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。（あてはまるもの全て選択可）

1. セクシュアル・ハラスメントを行った相手に抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 公的な相談機関に相談した
4. 警察等に相談した
5. 仕方がないと思い、何もしなかった
6. 怖くて何もできなかった
7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった
8. その他（具体的に：_____）

次のページに続きます→

Ⅷ ドメスティック・バイオレンス（DV）についてお伺いします

☆立ち入った質問になりますが、この調査は無記名で行っておりますので、回答された方に御迷惑がかかることは一切ありません。調査へのご協力をお願いします。

・ドメスティック・バイオレンス（DV）とは
配偶者や恋人などのパートナーから、殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力、レイプなどの性的暴力、ののしる、おどす、無視するなどの精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力を受けること。

問26 これまでに、夫・妻や恋人など親しい間柄にある男女間の暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。

（あてはまるもの全て選択可）

1. 暴力を受けたことがある
2. 身近に暴力を受けた人がいる
3. 暴力を受けた人から相談されたことがある
4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある
5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている
6. 経験したり見聞きしたことはない
7. その他（具体的に： _____）

▶<問26で「1. 暴力を受けたことがある」と答えた方に伺います。>

問27 夫・妻や恋人から暴力を受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。

（あてはまるもの全て選択可）

1. 暴力を振るった相手に抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 公的な相談機関に相談した
4. 警察等に訴えた
5. 仕方がないと思い、何もできなかった
6. 怖くて何もできなかった
7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった
8. その他（具体的に： _____）

Ⅸ 防災・復興についてお伺いします

問28 東日本大震災以前（平成23年3月11日以前）と現在を比べて、以下の①～⑥の項目について考え方が変わりましたか。（それぞれ1つを選択）

	大切だと思 うように なった	以前と変わ らない	わからない
① 家族や親戚とのつながり	1	2	3
② 友人や知人とのつながり	1	2	3
③ 地域でのつながり	1	2	3
④ ボランティアなどの社会貢献	1	2	3
⑤ 社会全体として助け合う意識	1	2	3
⑥ 自分のことは自分で守らなければならないという意識	1	2	3

問29 東日本大震災では災害直後や避難所運営に女性が参画していない、平時の防災や震災対応に女性の視点が無い等の問題が指摘されました。災害に備えるために、これからどのような施策が必要だと思いますか。(あてはまるもの全て選択可)

1. 市の防災会議や災害対策本部に女性の委員・職員を増やす
2. 地域防災拠点の運営に女性も参画できるようにする
3. 女性も男性も防災活動や訓練に取り組む
4. 備蓄品について女性や介護者、障がい者の視点を入れる
5. 避難所マニュアルなどをつくり、女性や子どもが安全に過ごせるようにする
6. 防災や災害現場で活動する女性のリーダーを育成する
7. 日ごろからのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にする
8. 日ごろからの男女平等、男女共同参画意識を高める
9. 性別や立場によって異なる災害時の備え(生活環境・物資・安全など)について知識を普及する
10. その他(具体的に: _____)
11. わからない

X 男女の社会参加についてお伺いします

問30 あなたが現在参加している活動をお答えください。(あてはまるもの全て選択可)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 福祉ボランティア活動 | 2. 自治会の活動 |
| 3. 子ども会・PTA・青少年の育成活動 | 4. 高齢者団体(老人クラブ等)の活動 |
| 5. 各種女性団体の活動 | 6. 消費者団体等の消費者活動 |
| 7. 趣味・スポーツ等のサークル活動 | 8. 環境・美化・自然保護活動 |
| 9. 防災・消防に関する活動 | 10. 地域おこし・まちづくり・観光に関する活動 |
| 11. その他(_____) | 12. 活動していない |

▶<問30で「12. 活動していない」と答えた方のみお答えください。>

問31 あなたが活動していない理由は何ですか。(あてはまるもの全て選択可)

1. 仕事が忙しく、時間がない
2. 家事・育児が忙しく、時間がない
3. 子どもの世話を頼めるところがない
4. 親や病人の介護を頼めるところがない
5. 自分の健康や体力に自信がない
6. 自分のやりたい活動をしているグループや団体を知らない
7. 身近なところに活動する場所がない
8. 経済的余裕がない
9. 家族の理解が得られない
10. 職場の上司や同僚の理解が得られない
11. その他(具体的に: _____)
12. 特になし

問32 あなたは市政に女性の意見が反映されていると思いますか。(1つを選択)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 十分に反映されている | 2. まあまあ反映されている |
| 3. あまり反映されていない | 4. まったく反映されていない |
| 5. その他(_____) | 6. わからない |

問33 湖西市における女性の審議会等委員は男性より少ないですが、このことについて、あなたはその理由は何だと思えますか。(複数選択可)

※参考：審議会等の女性委員の割合 平成26年度実績34.4%

1. 行政の各種委員等の選び方に問題がある
2. 家庭・職場・地域・学校における性別による役割分担意識や性差別の意識
3. 女性の側の積極性が十分ではない
4. 女性の参画を積極的に進めようとする人が少ない
5. 女性が参画するための家族の支援・協力が得られない
6. その他(具体的に：_____)
7. わからない

男女共同参画についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。

XI 多文化共生にかかわることについてお伺いします

問34 あなたは外国に住んだことがありますか。外国での居住経験のある人は、外国に通算何年住んでいましたか。(1つを選択)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 外国に住んだことはない | 2. 通算1年未満 |
| 3. 通算1年以上 5年未満 | 4. 通算5年以上 |

問35 あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。(あてはまるもの全て選択可※過去の経験を含む)

1. 一緒に働いている(働いていた)
2. 学校で一緒に勉強している(していた)
3. 友人としてつき合っている(つき合っていた)
4. 自分または親せきが外国人と結婚して日本に住んでいる(住んでいた)
5. 国際交流グループで一緒に活動している(していた)
6. 子どもの通う学校でのPTA活動などを通じて、一緒に活動している(していた)
7. 宗教活動(教会など)を通じて、一緒に活動している(していた)
8. その他のグループや地域活動と一緒に参加している(していた)
9. 外国人とあいさつ程度の付き合いはある(あった)
10. 外国人の知り合いはいないし、付き合いを持ったこともない

問36 あなたが生活している地域で、外国人と顔を合わせるがよくありますか。(1つを選択)

- | | | | |
|---------|-----------|----------|---------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. あまりない | 4. 全くない |
|---------|-----------|----------|---------|

問37 地域で暮らす外国人についてどの程度親しみを感じますか。(1つを選択)

1. 親しみを感じる 2. どちらかといえば感じる 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば感じない 5. 親しみを感じない

問38 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。(1つを選択)

1. 賛成 2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対 4. 反対

→ <賛成の理由>

→ <反対の理由>

問39 あなたは日本に外国人が増えるとどのような影響があると思いますか。それぞれの項目についてあなたの気持ちに最も近いものを選んでください。(それぞれ1つを選択)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①社会に多様性が生れる	1	2	3	4
②日本固有の文化がそこなわれる	1	2	3	4
③地域経済の活性化に貢献する	1	2	3	4
④日本人の仕事が奪われる	1	2	3	4
⑤外国語を学ぶ機会が増える	1	2	3	4
⑥治安が悪化する	1	2	3	4

問40 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどう思いますか。(それぞれ1つを選択)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①外国人は、自分自身の努力で、日本の言語や文化を身につけるべきだ	1	2	3	4
②外国人は、日本社会にとけこむよう、日本の習慣やルールを学ぶべきだ	1	2	3	4
③外国人は、地域の活動に積極的に参加すべきだ	1	2	3	4
④行政は、外国人が日本の言語や文化を学べるよう援助すべきだ	1	2	3	4
⑤行政は、外国人がかれら自身の言語や文化を守れるよう援助すべきだ	1	2	3	4
⑥日本人は、地域に住む外国人の言語や文化を学ぶべきだ	1	2	3	4

問41 地域を在住外国人とともに暮らしやすい社会にするため、私たち日本人は何をすべきと思いますか。(あてはまるもの全て選択可)

1. 外国人に対する差別意識をもたないようにする
2. 日本語や日本文化の多様性を日本人が自ら知る努力をする
3. 日本語や日本文化を外国人に教える
4. 日本で生活するルールを外国人が守るように呼びかける
5. 地域住民との交流や地域の活動に外国人の参加を呼びかける
6. 外国語の言葉や文化を学ぶ

問42 日本人住民と在住外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために、あなたは行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるもの全て選択可)

1. 行政サービス情報を多言語で表記する
2. 緊急時に防災情報を多言語で放送する
3. 労働相談や生活相談をしやすいように多言語の通訳をつける
4. 医療通訳を充実する
5. 無料の日本語教室を開く
6. 日本人と外国人の交流の場を設ける
7. 生活相談などに対して丁寧に対応する窓口を設ける
8. 公営住宅を充実させる
9. 企業に対して労働規約の遵守などを指導する
10. 職業訓練を受けやすいようにカリキュラムを工夫する
11. 外国人に対して差別がなくなるように外国文化などを理解する機会を設ける

多文化共生についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました市民意識調査票は同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、
7月21日（火）までにご投函くださいますようお願い申し上げます。